

岡村製油

油粕の販路拡大

需要急増で品薄に

【大阪＝柏原】岡村製油（大阪府柏原市、岡村博光社長）は綿実油粕（写真）の販路拡大を強力に推し進め、販売数量を伸ばしている。

有機栽培に取り組む静岡や京都の茶農家に使用

をすすめてきた。綿実油粕は菜種油粕に比べ窒素分が高い。顆粒状で、ゆっくり長く効く性質がある。発酵臭も少ない。農家で試験的に使用したところ、使い勝手が良く効果が顕著であったため購

入希望が増え、ことしの春季の需要が伸び、在庫が品薄となった。

化成品部の保田和彦氏は「地道な営業努力が実



を結んだと言える。綿実油粕は葉物に効くのでキャベツやケールにも合う。現在タケノコ農家

でも試験的に使ってもらっている。多くの方に特性を知っていただき、広めていきたい」と話